

令和 6 年 9 月 25 日

各 位

薬局 医薬品情報室

第 288 回薬事委員会 伊勢原協同病院 採用薬品等について

*原則、令和 6 年 10 月 1 日以降より使用いたします。

院外採用薬はマスタ設定次第開始となります。

1. 新規採用薬品について

(1) プレバナー20 水性懸濁注（ファイザー）[小児科]

プレバナー水性懸濁注は、令和 6 年 10 月 1 日より小児における定期予防接種（小児用肺炎球菌）の対象薬となるため採用となります。

2. 院外採用薬品について

報告事項はありません。

3. 採用区分変更の薬品について

(1) ヒュミラ皮下注 40mg ペン 0.4mL（アッヴィ） 薬価：48,988 / キット

特定採用（患者限定）→ 院外採用へ変更

(2) ヒュミラ皮下注 40mg シリンジ 0.4mL（アッヴィ） 薬価：51,553 / 筒

院内採用 → 特定採用（患者限定）へ変更

当院のヒュミラ皮下注の採用は「シリンジ」タイプであるが、シリンジタイプは自己注射が困難となる場合が多く、自己注射が行いやすいペン型の製品へ変更します。これに伴い、ヒュミラ皮下注シリンジ製剤は現在使用している患者のみ使用となります。

4. 採用中止薬品について

(1) プレバナー13 水性懸濁注（ファイザー）

プレバナー20 水性懸濁注の採用に伴う採用中止の検討

プレバナー13 水性懸濁注は、令和 6 年 10 月以降は小児定期接種の対象ワクチンではなくなること、プレバナー20 水性懸濁注を新規で採用することから採用中止となります。

(2) ドレニゾンテープ 4 μ g/cm²（帝国製薬）

製薬会社の都合による販売中止のため

ドレニゾンテープ 4 μ g/cm² は、製薬会社の都合による販売中止のため採用中止とします。

(3) リキスミア皮下注 300 μ g (サノフィ)

製造会社の都合による販売中止のため

リキスミア皮下注 300 μ g は、製薬会社の都合による販売中止のため採用中止とします。

5. 販売名変更の報告

報告事項はありません。

6. メーカー変更の報告

・ベルソムラ錠 20mg、ベルソムラ錠 15mg

MSD → 第一三共

上記の薬剤についてメーカーが変更となります。

7. 特別採用薬品の報告

－診療科限定－

- (1) ピアスカイ注 340 mg (中外製薬) [小児科]
- (2) アトガム点滴静注液 250 mg (ファイザー) [血液内科]
- (3) ヘムライブラ皮下注 60 mg (中外製薬) [血液内科]
- (4) ヘムライブラ皮下注 90 mg (中外製薬) [血液内科]
- (5) ヘムライブラ皮下注 105 mg (中外製薬) [血液内科]
- (6) ヘムライブラ皮下注 150 mg (中外製薬) [血液内科]
- (7) メトジェクト皮下注 7.5mg ペン 0.15mL (エーザイ) [総合内科・院外]

－患者限定 臨時採用薬使用－

- (8) アイモビーグ皮下注 70mg ペン (アムジェン) [脳神経内科・院外]
- (9) アジヨビ皮下注 225mg オートインジェクター (大塚製薬) [脳神経内科・院外]
- (10) ホスリボン配合顆粒 (ゼリア新薬) [消化器内科・院外]
- (11) オルドレブ点滴静注用 150mg (GSK) [血液内科]
- (12) ビ・シフロール錠 0.125mg (ベーリンガーインゲルハイム)
- (13) ノボラピッド注ペンフィル (ノボ・ノルディスク) [内分泌・糖尿病内科]

上記薬剤は、現在特定の診療科又は特定の患者において処方されている、処方が予定されている特定使用薬品です。申請された診療科及び患者のみ使用可能となっています。

8. 後発医薬品切り替えについて

(1) 5 α 還元酵素阻害薬・前立腺肥大症治療薬

先発品名：アボルブカプセル 0.5mg (GSK) 薬価：73.1 / 錠

後発品名：デュタステリドカプセル 0.5mgAV「武田テバ」(武田テバ) 薬価：29.2 / 錠

(2) 環状リポペプチド系抗生物質製剤

先発品名：キュビシン静注用 350mg (MSD) 薬価：9,015 / V

後発品名：ダプトマイシン静注用 350mg「ニプロ」(ニプロ) 薬価：4,761 / V

(3) ヒト型抗ヒト TNF α モノクローナル抗体製剤

先発品名：ヒュミラ皮下注 40mg ペン 0.4mL(アヴイ) 薬価：48,988 / キット

後発品名：アダリムマブ BS 皮下注 40mg ペン 0.4mL「CTNK」(日本化薬) 薬価：25,310 / キット

上記の薬剤は、記載通り後発医薬品へ変更となります。

9. その他

—流通関連—

(1) クラリスロマイシン錠 200mg「タカタ」限定出荷解除

クラリスロマイシン錠 200mg「タカタ」は、2023年より出荷調整が続いていましたが、2024年8月に出荷調整解除となりました。

(2) セレスタミン配合錠 限定出荷解除

セレスタミン配合錠は、2022年5月より出荷調整が続いていましたが、2024年8月に出荷調整解除となりました。

(3) ピレチア錠(25mg) 限定出荷解除

ピレチア錠 25mg は、2022年12月より出荷調整が続いていましたが、2024年8月に出荷調整解除となりました。

(4) ダカルバジン注用 100 限定出荷解除について

ダカルバジン注用 100 は、2023年11月に製造手順の適格性を評価するために実施している試験に逸脱があり出荷が一時停止となりましたが、2024年8月より限定出荷が解除されました。

(5) ワイスタール配合点滴静注用 1g バッグ 出荷停止より限定出荷への変更

ワイスタール配合点滴静注用 1g バッグは、2024 年 5 月に凍結乾燥機の故障が発生し、製造が一部停止したため出荷が一時停止されましたが、2024 年 9 月より流通が一部再開されました。

(6) 1%ディプリバン注キット 出荷調整のお知らせ

1%ディプリバン注キットは他社製品（麻酔関連薬の流通制限）の影響のため出荷調整となっています。

(7) アネレム静注用 50mg 出荷調整のお知らせ

アネレム静注用 50mg は、製造国の輸出許可に関する遅延のため出荷調整となっており出荷再開時期が 2024 年末に延長となりました。

(8) キシロカインゼリー 2% 出荷調整のお知らせ

キシロカインゼリー2%は、需要の増加及び製造工程における逸脱が発生したため製造が停止しており、現在は製造が再開されましたが在庫が十分でないため出荷が制限されている状況です。

(9) キシロカインビスカス 2% 出荷調整のお知らせ

キシロカインビスカス 2%は、「キシロカインゼリー2%」の出荷調整のため出荷が制限されている状況です。

(10) 静注用キシロカイン 2% 5mL/A 出荷調整のお知らせ

静注用キシロカイン 2%は、同効薬である注射用キシロカイン製剤の需要増と限定出荷の影響により出荷が制限されている状況です。

(11) インスリンリスプロ BS 注ソロスターHU「サノフィ」 出荷調整のお知らせ

インスリンリスプロ BS 注ソロスターHU「サノフィ」は、市場環境による需要増加の影響を受け供給予定を上回る需要が見込まれているため、2024 年 8 月より当面の間出荷が制限されている状況です。代替薬「ヒューマログ注ミリオペン」への変更について、糖尿病内科の各医師には情報提供済です。

—その他—

(12) RI で使用されてる薬剤の一覧について

(13) 後発医薬品のある先発医薬品（長期収載品）の選定療養について

以上